

事業名	大分類						
	小分類	学校体育施設開放運営事業					
事業開始年度		昭和 54 年度					
事業概要	事業の目的	市民の生涯における各時期に応じた社会教育および社会体育活動の普及促進を図り、あわせて子どもの安全な遊び場の確保を図るため、学校教育に支障のない範囲内において、裾野市公立学校の施設の利用促進を図る。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	市内各小中学校の体育施設を社会体育施策として市民に開放する。					
	実施内容と 事業費内訳	市内14校、学校体育施設開放 月曜(祝日の場合は開放)、祝日の翌日以外 (平日 小学校:17時~21時 中学校:19時~21時、土日祝日9時~21時) 使用料 運動場(昼間無料、小学校夜間照明500円/1時間、 中学校夜間照明2000円/1時間) 体育館1面(午前中200円、午後300円、夜間500円) ○事業費内訳(H24予算) 賃金(管理指導員12人) 報償費(運営委員、調整会議5地区×6回) 需用費(消耗品、電気料、照明修繕ほか) 委託料(須山中、深良小管理委託) 工事請負費(学校関係施設工事) 貸付金(つり銭)					
	事業に係る 事務量	・学校との連絡調整、2ヶ月毎に調整会議開催、利用予約の受付 賃金・報酬支払い、施設修繕					
							延べ 0.7 人数
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (予算額)	平成25年度 (見込額)
	総事業費	12,013	12,619	9,460	9,398	10,489	6,000
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他	2,481	2,449	1,953	2,043	2,220	2,220
	一般財源	9,532	10,170	7,507	7,355	8,269	3,780
「その他」財源の内訳		使用料					
近隣市町の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・管理指導員による開閉は沼津市のみ、その他の市町は利用者の自主管理方式(管理方式に細かな違いあり。詳細は別紙) ・自主管理方式メリット(経費節減、自治意識の向上) ・自主管理方式デメリット(施設施設、清掃、破損の確認が利用毎にできない) 見解: リスクがあるため学校側からの慎重な意見もあるが、利用者の意識向上を図り全校に自主管理方式を導入したい。						

近隣市町の状況等には、裾野市の事業に対する取り組みについての担当課の見解も記載してください。
 記載しきれない場合は、適宜別紙としてください。
 できるだけ事業内容を補足する資料を提出してください。